

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	信州大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	シンシュウダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F120110105771
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	長野県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	課題解決インターンシップゼミ
	学部・研究科等名	キャリア教育・サポートセンター
	担当教職員名・役職	勝亦達夫・講師
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	15
	受入企業等数	9
	受入企業等名	伊那市役所、カシヨキャリア開発(株)、栞日、南相馬市、NEXCO東日本、Natural Recipies Kitchaen、長野県教育委員会、大町市役所、フォレストデザイン
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	副専攻の必修科目として実施している。
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている

要素③		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
		2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	毎月ゼミを実施し、実施前の事前学習として、マナーやマインド形成の講義、インターンシップ・プログラムの計画づくり、課題解決の内容、受入れ先との調整の進捗確認などを行う。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	実施報告書として、キャリアシートを設定し、実施の取り組みを可視化しつつ、実施内容を教員、学生へプレゼン発表し、報告をしながらフィードバックを行っている。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	受入れ企業と、事前・実施中・事後に打ち合わせ・面談の場を持ち、学生の成長やプログラムの課題などを確認している。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準（例：ルーブリック）を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
4-3.上記回答内容に関する詳細		
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
		3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	事前に企画したイベントやプログラムを、集中して実施
5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合		

	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	取り組む課題、受入れ先企業を複数設定した場合、5日間以上活動を行う。
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
		6.企業と協働して、P D C Aを実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
6-3.上記回答内容に関する詳細		
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://campus-3.shinshu-u.ac.jp/syllabusj/Display?NENDO=2021&BUKYOKU=G&CODE=G2B45603
問い合わせ先	大学等名	信州大学
	担当部署名	キャリア教育・サポートセンター
	担当者役職名	講師
	担当者氏名	勝亦達夫
	電話番号	0263-37-3348
	メールアドレス	career@shinshu-u.ac.jp